

5. 成果イメージ資料

年度	日本語教育 コーディネーター	日本語教育支援員 (会計年度任用職員)	柏市児童生徒日本語支援の会 (有償ボランティア)	日本語教員 (県費)	学校	予算
R7	日本語教育コーディネーター の配置【1名】	・日本語教育の体制について協議	・日本語支援者会員数69名 (活動50名ほど) ※要支援者数150名見込み	・市内3校に 2～3名配属	・外国籍等支援担当の位置づけ	・R4～8政策提言, MR記載
R8	運用・調査	公募にて選定	会の負担	市内6校に 4名配属予定	・連絡相談窓口の一本化 ・悉皆研修	・ボランティアへの謝礼金 (1コマ1,000円)
R9		日本語教育支援員の導入 【1名】				・国の補助金 (3分の1)
R10		日本語教育支援員の拡充 【計3名】				
R11						

- ・支援を要する児童生徒に対しての支援者の配置調整
- ・学校への日本語教育の助言
- ・児童生徒のレベルチェック (DLA実施)
- ・委員会と会の役割分担整理
- ・学校での支援体制構築 (日本語ルーム設置検討)
- ・日本語教育の質の向上 (学校訪問・研修等)
- ・謝礼金や報告書等の事務作業
- ・聞き取り調査票の作成
- ・日本語能力測定方法の検討等

公募にて選定

日本語教育支援員の導入
【1名】

- ・支援コマ数の確保
- ・配置校は実態に応じて変更する

日本語教育支援員の拡充
【計3名】

- ・グループ支援, オンライン支援, 拠点校, プレスクール等の検討, 運用, 調査

会の負担

- 【会の業務】
- ・1人につき週2回4コマまで
- ・要請に対して支援者の配置調整
- ・個別支援記録簿の作成
- ・研修, 教材の確保
- 【課題】
- ・支援配置や取りまとめ役の負担過多
- ・要請増加に対し支援者不足
- ・会員の高齢化
- ・支援者1人当たりの支援可能人数の減少
- ・会の存続維持

- ・会計年度任用職員だけでは対応できない学校に配置
- ・会の在り方の検討

県費職員の増員要請
(教職員課)

- ・配置校は毎年要望に応じて変更あり
- ・柏市の日本語教育体制の検討 (R6柏五小, R7柏三小, R8柏七小を柏市研究校指定予定)